

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズとこらく		
○保護者評価実施期間	2026年2月9日		2026年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年2月9日		2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた課題を設定し、ABA（応用行動分析）に基づいた、個別療育を行っていること。	・ABA（応用行動分析）の考え方を取り入れ、子どもの行動の理由や背景を考えながら支援を行っています。 また、子ども一人ひとりの特性や発達段階に合わせて課題を設定し、小さな成功体験を積み重ねながら成長につながるよう支援を行っています。	・ABA（応用行動分析）についての理解や支援の質を高めるため、職員研修や事例検討を行い、職員全体の専門性の向上に努めています。 また、子ども一人ひとりに合った支援が行えるよう、支援内容の見直しや職員間での情報共有をさらに充実させていきます。
2	・市内の保育園との交流や、事業所内行事を通して、保護者、兄弟同士のつながりを大切にしていること。	・市内の保育園との交流を行うほか、ピクニックやBBQ、芋掘り、茶話会などの事業所内行事を実施し、子どもたちだけでなく、保護者や兄弟同士も交流できる機会づくりを行っています。	・事業所内の行事内容をさらに充実させていきます。また、保護者や兄弟同士が安心して交流できる機会づくりについても、継続して取り組んでいきます。
3	・保護者と日常的にコミュニケーションを取り、保護者の気になることや悩みに丁寧に向き合っていること。保護者との信頼関係を大切にしながら支援を行っていること。	・日々の送迎時の会話に加え、LINEなども活用しながら保護者との情報共有を行っています。保護者が相談しやすい環境づくりを大切に、子育てに関する悩みや不安にも丁寧に対応することを心掛けています。	・今後も保護者との日常的なコミュニケーションを大切にしながら、相談しやすい環境づくりを継続していきます。また、保護者への情報提供や相談支援の充実を図り、より安心して利用していただける事業所づくりに努めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の専門性向上のための研修機会を、さらに充実させていく必要がある。	日々の支援業務の中で職員研修の時間を十分に確保することが難しい場合があり、外部研修や事業所内研修の機会をさらに増やしていく必要があると考えています。	外部研修への参加や事業所内での研修、事例検討の機会を設け、職員の専門性向上に努めていきます。また、職員間で支援方法や知識を共有し、支援の質の向上につなげていく必要があると考えています。
2	他事業所との連携や情報共有の機会を、さらに充実させていく必要がある。	日々の業務の中で、他事業所との情報交換や連携を行う機会が十分に確保できていないため、より積極的に連携を図っていく必要があると考えています。	関係機関や他事業所との情報交換の機会を大切にしながら、連携を図っていきます。また、研修会や連絡会等への参加を通して情報共有を行い、支援の質の向上につなげていきます。
3	子どもの特性に応じた支援方法について、職員間での情報共有をさらに充実させ、支援の質の向上を図っていく必要がある。	子どもの特性や支援方法については職員間で共有を行っていますが、日々の業務の中で十分な情報共有の時間を確保することが難しい場合があり、より充実させていく必要があると考えています。	職員間での情報共有の機会を増やすとともに、事例検討やミーティング等を通して支援方法の共有を行い、子ども一人ひとりに合った支援が行えるよう支援の質の向上に努めていきます。